

1 一二点

<書き下し文・意味>

- (1) **せんりをいく** 悪事千里を行く (悪い噂はすぐに、広く伝わる)
- (2) **ごじっぽをもって** 五十歩を以て百歩を笑ふ (五十歩の者が百歩の者を笑う)
- (3) **くわうかくろうをし** 故人西のかた黄鶴楼を辞し (旧友が西の黄鶴楼を去り)
- (4) **ていてうをきく** 処処啼鳥を聞く (ところどころで小鳥のさえずりを聞く)
- (5) **さんらくあり** 君子に三楽有り (君子に三つの楽しみがある)

<読み方のポイント>

一二点は、一点の付いた字の後に、二点の付いた字へ返って読むことを示す。A[二]BC[一]の読み順は、BCAとなる。

一二点は、一点の付いた字の後に、二点の付いた字へ返って読むことを示す。A[二]BC[一]の読み順は、BCAとなる。

一二点は、一点の付いた字の後に、二点の付いた字へ返って読むことを示す。A[二]BC[一]の読み順は、BCAとなる。

一二点は、一点の付いた字の後に、二点の付いた字へ返って読むことを示す。A[二]BC[一]の読み順は、BCAとなる。

一二点は、一点の付いた字の後に、二点の付いた字へ返って読むことを示す。A[二]BC[一]の読み順は、BCAとなる。

2 上下点

- (6) **ひとしからんとほつす** 常馬と等しからんと欲す (普通の馬と同じでありたいと望む)
- (7) **くたうをなすものあり** 客に能く狗盗を為す者有り (食客の中に、こそ泥のうまい者がいた)
- (8) **このむものあり** 漚鳥を好む者有り (かもめを好む者がいた)
- (9) **ものあり** 婦人の墓に哭する者有り (婦人が墓で大声で泣いている)
- (10) **けんずるものあり** 梅樹を献ずる者有り (梅の木を献上する者がいた)

上下点は、上点の付いた字の後に、下点の付いた字へ返って読むことを示す。一二点をはさんで使われる。A[下]B[二]CD[一]E[上]の読み順は、CDBEAとなる。

上下点は、上点の付いた字の後に、下点の付いた字へ返って読むことを示す。一二点をはさんで使われる。A[下]B[二]CD[一]E[上]の読み順は、CDBEAとなる。

上下点は、上点の付いた字の後に、下点の付いた字へ返って読むことを示す。一二点をはさんで使われる。A[下]B[二]CD[一]E[上]の読み順は、CDBEAとなる。

上下点は、上点の付いた字の後に、下点の付いた字へ返って読むことを示す。一二点をはさんで使われる。A[下]B[二]CD[一]E[上]の読み順は、CDBEAとなる。

上下点は、上点の付いた字の後に、下点の付いた字へ返って読むことを示す。一二点をはさんで使われる。A[下]B[二]CD[一]E[上]の読み順は、CDBEAとなる。



【アプリ版のご紹介】古文・漢文

古文・漢文を学習中の中学生、高校生必見！定期試験とセンター試験に頻出の「古文単語」「古典文法」「漢文」を、完全に無料で学べるアプリが登場！！



【オマケの一題】

中学社会 地理・歴史・公民

1997年に結ばれた、温室効果ガスの削減目標を定めた条約は？
 (A) ジュネーブ条約 (B) 京都議定書 (C) 原子力協定 (D) 南極条約